

宇宙 分かりやすく

美濃市曾代の特産物直売所「みちくさ館」で宇宙をテーマにした展示が開かれている。展示を作った愛知教育大の幅良統准教授（むらよし とものり）は「展示をきっかけに宇宙に興味を持ってもらえれば」と願う。十一月二十八日まで。

（金田侑香璃）

美濃の特産物直売所「みちくさ館」

地域住民や地元ゆかりの人の活動を紹介する「みちくさキャラリー」の第五弾。幅准教授は美濃市御手洗出身で同館の林裕子館長と親交があり、今回の展示が実現した。

幅准教授は、超巨大ブラックホールの周辺から放たれるエックス線の観測を中心に研究を続けている。「宇宙と聞くと難しいものと思われがちだが、意外と身近なものもあることを知

ってほしい」と、普段の生活の中で聞いたことがある事柄や宇宙の基礎を中心に展示した。

今回のために用意したポスターなども掲示する。「宇宙の不思議な天体図鑑」と題したコーナーでは、超巨大ブラックホールや超新星残骸、銀河団を衛星画像を用いて紹介。それぞれがどんなものなのか、重さや現在の研究でわかっていることなどをわかりやすく説明



展示の説明をする幅准教授＝いずれも美濃市曾代のみちくさ館で

地元出身 愛教大の幅准教授展示

地元の子どもたちにも楽しみながら知ってもらいたいとクイズも用意。「太陽の直径はどれくらい？」や「最新の研究からわかった宇宙の年齢は何歳でしょうか？」など、全十二問が並ぶ。全て四択で、問題と選択肢が書かれた紙をめくると、答えと解説を見ることができ

る。

そのほか、やきとりやパンなどの宇宙食も展示している。幅准教授は「美濃は夜になると星がきれいに見える貴重な場所。展示で気になったことを自分でさらに調べたり、夜空を見上げたりしてほしい」と話す。

午前九時～午後四時半、木曜休み。十一月は無休。



展示されている宇宙食